



ドナルド E. クニーベル

オブ・カウンセル(退職)

P 317-231-7214

donald.kneibel@btlaw.com

EDUCATION

Purdue University, (B.S.), with highest distinction, 1968

Harvard Law School, (J.D.), magna cum laude, 1974

BAR ADMISSIONS

インディアナ

COURT ADMISSIONS

U.S. Court of Appeals for the Federal Circuit

U.S. Court of Appeals for the First Circuit

U.S. Court of Appeals for the Fourth Circuit

U.S. Court of Appeals for the Seventh Circuit

U.S. Court of Appeals for the Sixth Circuit

U.S. Court of Appeals for the Third Circuit

言語

英語

インディアナポリス事務所、知的財産部門に所属した。現在は退職している。

特許侵害、反トラスト法(米国独禁法)違反、不当競争、商標侵害、代理店／セールスレップの不当解約、競合契約違反など、多くの知的財産権関係の案件を専門とした。全米23州の訴訟に携わり、10州の裁判所で裁定までの弁護士を務めた。American College of Trial Lawyersの一員で、1983年の創刊以来、Best Lawyers in America(商事訴訟、知的財産権訴訟、反トラスト法、Bet-the-Company訴訟、著作権法、特許法)に名を連ねるほか、2011年度インディアナ州知的財産権訴訟部門のLawyer of the Yearを得、2015年、2018年にはLawyer of the Yearに選ばれた。Chamber USAのAmerica's Leading Lawyers for Businessでは「インディアナ州最高の知的財産権訴訟弁護士」とされた、また、英国Mondaq社によるアンケートでも、特許法弁護士として世界で最も勧めたい弁護士の一人に選ばれ、Indiana Super Lawyerにも幾度も名を連ねた。

インディアナ大学Maurer School of Lawの知的財産リサーチセンターで非常勤教授、シニアアドバイザーを務める。反トラスト法とそのコンプライアンスに関する多くのセミナー、講演で講師を務め、アニメーションを含むテクノロジー利用関連の特許に関しても、多くの講演を行った。また、反トラスト法、知的財産権保護に関して多くの著作を持ち、米国弁護士協会出版のインディアナ州State Antitrust Practice and Statutesの共同著者の一人である。

1968年にパーデュー大学最優等のB.S.E.E.を得て卒業後、1968～1971年にはエレクトロニクス・デザインエンジニアとして、ロッキード社に勤務。1974年、ハーバード・ロースクールよりmagna cum laudeでJ.D.を修得し、同年よりBarnes & Thornburg法律事務所に加わる。インディアナ州、第1、第3、第4、第6、第7、及び連邦巡回裁判所、及び、多数の連邦地方裁判所登録弁護士。